

【令和元(2019)年度】

**地方創生推進交付金事業及び地方創生拠点
整備交付金事業に係る効果検証**

令和2年5月
八代市

— 目 次 —

■地方創生推進交付金事業

- 海外クルーズ船寄港を活かした観光・物産プロジェクト ……1
- 八代圏域ツナガルインターンシップ推進事業 ……8
- 八代市健康交流のまちづくりを目指したヘルスツーリズム構築事業 ……14

■地方創生拠点整備交付金事業

- コミュニティビジネスによるしごと創生・地域活性化プロジェクト ……18

■事業概要・内部検証

1 事業名	海外クルーズ船寄港を活かした観光・物産プロジェクト 【事業期間：H28～R2年度】
2 総合戦略での主な位置付け	基本目標2: 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ” 1. 交流人口の拡大 (2) 世界に打ち出す観光業の展開
3 事業の背景・目的	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「DMOやつしろ」は平成28年4月に設立され3年が経過するが、観光地経営に必要な経営ノウハウを持つ人材の継続的な確保及び人材育成が課題である。 ・近年、海外クルーズ客船が八代港に寄港しているものの、本市や県南地域の観光地としてのブランド力が弱く、寄港効果の取り込みが十分行えていない。 ・海外クルーズ客船の船客等を対象としたランド社意向ヒアリング等を踏まえ、今後、体験型観光や歴史文化及び地域の食などの地域資源を磨き上げ、体験・体感してもらうための仕組みづくりが必要である。 ・本市は多くの体育施設を有し、各種スポーツ大会や国内外からの合宿利用客が増加傾向にある。そこで、市体育施設等の能力を最大限に活用した長期滞在の合宿や新たな大規模スポーツ大会の誘致に向けた取組みにも着手しているところであり、観光振興事業とあわせて取組みを推進し、交流人口の拡大を図りたい。 ・熊本地震に伴う風評被害等により宿泊者数が激減するなど観光産業に影響がでている。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外クルーズ客船等で訪れる国内外からの観光客をターゲットに、八代固有の歴史・文化を活かして、「DMOやつしろ」を核とする官民協働による観光地づくりを進め、交流人口の拡大と経済効果発現を目指す。 ・加えて、日本一の生産量を誇るトマトや晩白柚、い草等の農産物をはじめとする地域特産品のプロモーション等に取り組むことにより、農林水産物や加工品等の消費拡大・流通促進、また商品開発等を推進し、観光産業及び食関連産業の活性化と雇用の創出を目指す。
4 事業の概要 (H28～R2年度)	<p>①DMOやつしろ機能強化事業</p> <p>DMOやつしろを担う専門的人材や後継人材の育成、マーケティング等の基礎調査の実施、観光ガイドやツアー造成の一役を担うランドオペレーター(旅行中の案内や交通手段の手配を行う者)等の養成を行う。また、熊本地震からの再生に向け観光事業者支援を行う。</p> <p>②大型クルーズ船等インバウンド事業</p> <p>八代城跡周辺や日奈久温泉を中心に、八代ならではの和のまち並み空間整備を行うとともに、食・農・文化・スポーツ等の様々な分野と連携した体験型観光の開発や観光客の周遊性を高めるための多言語による情報発信(表示・ガイドブックやSNS・スマートフォン)等に取り組む。また、クルーズ船社等へのツアーの提案やツアーに参加しない乗客・クルーを対象に中心市街地等との交通アクセスの強化を行い、イベントへの参加や買物・食事等による消費拡大を図る。</p> <p>③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業(シトラスブランディング事業)</p> <p>3市町は、晩白柚やデコボン、夏ミカン等柑橘類の園芸農業が盛んな地域であり、農林水産省が推進する「食と農の景勝地」の認定を目指した取組みを推進する。プロモーション活動を進めながら、「ここでしか味わえない体験と味」をテーマに戦略計画を策定し、晩白柚風呂(日奈久温泉)やデコボン・晩白柚アロマオイルクリームづくり体験、特産品やお土産の開発等、官・民および周辺地域と協働で集客に取り組む。</p> <p>④フードバレー流通推進事業</p> <p>国内の大都市圏(東京・大阪・福岡等)や海外での販路開拓・拡大、6次産業化や商品開発等を推進するため、物産展や展示会、商談会等への出展、国内外の消費者に八代産農林水産物の安全性と美味しさをアピールする事業者への支援等を行う。特に海外展開については、台湾での活動を軸に、友好都市である基隆市における観光物産展の開催や食品見本市への出展をとおして、販路開拓の取組みを推進するとともに、産地としての知名度向上を図ることで観光客の誘致に繋げる。</p>

5 交付金を充当する
経費内容
(R1年度)**①DMOやつしろ機能強化事業 29,286千円**

DMOやつしろの成長と自立に向け、地域まちづくりのコーディネート力、マネジメント力、組織・財務管理に富んだ人材を登用し、クルーズ船商社等へのニーズ対応等観光地経営を着実に確立するための組織力を強化するとともに、観光商品の差別化とプロモーション強化のためのマーケティングを実施する。また、農産物の販路拡大を目指し、専門アドバイザーによるコーディネート、地元専門学校と連携し外国人観光客への更なる工夫と改善を探る。

【実施主体:八代市・DMOやつしろ】

- ・専門人材の活用(まちづくり専門人材、6次化・流通・海外アドバイザー)

【実施主体:DMOやつしろ】

- ・観光専門人材の育成教育システム(高校・短大等との連携)
- ・差別化、プロモーション

②大型クルーズ船等インバウンド事業(ソフト事業) 47,614千円

重点エリアである、八代城址周辺・日奈久温泉街における官民一体となった歴史的文化的なまち並みの整備を行うとともに、地元の受入体制整備を図る。完了。また、国内における観光フード都市としての認知度を確立させる。併せて、地域の底上げのためDMO会員による事業への支援を実施する。

【実施主体:DMOやつしろ】

- ・八代城周辺、妙見宮周辺(運営支援)
- ・既存ブランド強化(宿泊するための仕掛けづくり:タクシー・レンタカー委託等)
- ・インバウンド対策(県内プレミアムツアー、周遊バス運行、国内外プロモーション、ファミトリップ)
- ・地域資源の開発、商品化支援(体験観光商品の開発助成)

【実施主体:八代市】

- ・スポーツツーリズム推進事業
(国際スポーツイベントや東京オリンピックに向けた合宿等の招致活動)

②-1 大型クルーズ船等インバウンド事業(ハード事業) 10,000千円

・城下町やつしろ和のまち並み空間整備事業(補助金)

【実施主体:DMOやつしろ】

- ・重点エリアにおける和のまち並みに整備する民間への設備補助
(八代城跡周辺における整備)

③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業 16,434千円(うち八代市9,277千円)

戦略プランに基づくPR事業を実施するとともに、道の駅を活用した体験プログラムや通年イベントを開催。また、熊本県で女子ハンドボール世界選手権及びラグビーワールドカップ開催が開催されるのに合わせて、観光・物産に関する情報発信を強化する。

【実施主体:シトラス観光圏推進協議会】

- ・海外等への映像発信(SNS、海外CM(TV、BS等))
- ・戦略計画に基づく事業の実施

【実施主体:熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会】

- ・イオンフードアルチザン活動(イオン香港での観光フード展)

【事業主体:芦北町】

- ・芦北産農林水産物等PR事業(芦北フェア等食のイベント開催)
- ・観光商品造成事業(うたせ船を柱とした観光商品の造成)

④フードバレー流通推進事業 13,871千円

フード関連事業による商流継続や知名度向上をフックとして、産地ツアー等による観光客誘致につなげ、県南地域全体における外貨獲得手段の構築を目指す。

【実施主体:八代市】

- ・台湾プロモーション事業(基隆、台中等での認知度定着およびハイヤーとのマッチングによる商流の開拓を目的とした観光フード展)
- ・八代産農林水産物等PR事業補助(県外・海外へ進出する企業等の販売促進支援)
- ・リーファーコンテナ利用支援(八代港からの生鮮品等の輸出を目的とした補助。港湾機能拡充(リーファーコンテナ用電源設備等)を契機とした生鮮品等の輸出を行う荷主へのトライアル支援)

6 R1年度実績額 (下線は見込み)	88,550 (千円)							
7 本事業における重要業績評価指標 (下線は見込み)	指標名		事業開始 時点	H28	H29	H30	R1	R2
	観光客入 込数(人)	目標値	2,475,653	2,429,653	2,616,653	2,668,653	2,770,653	2,805,653
		実績値	2,475,653	2,215,463	2,846,679	2,534,812	2,169,748	
	外国人観 光客数 (人)	目標値	6,686	3,986	10,586	13,286	15,786	16,786
		実績値	6,686	8,114	268,447	125,405	61,192	
	観光消費 額(千円)	目標値	12,367,175	12,173,517	13,114,319	13,379,020	13,894,747	14,071,206
実績値		12,367,175	9,920,171	14,474,475	13,407,689	12,270,706		
8 事業実績	<p>①DMOやつしろ機能強化事業 23,007千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光専門人材の育成教育システム(人材育成教育システム) きびつと隊人材育成事業「きびつと隊おもてなし向上定例会」(5回開催) 職員研修(宮崎県細島港クルーズ受入視察、ふるさとチョイス実務者会議参加、八女茶のくに観光案内所視察) ・外部人材等の活用 DMO自走化に向け、経営戦略のもと専門的人材の活用 (JTBから事務局長を招聘等) 外部人材等の活用(フットバレー関連アドバイザー):3部門・5名 外部人材等の活用(海外展開サポート):セミナー・ワークショップ開催、バイヤー招聘、 香港飲食店八代フェア開催、通訳・翻訳 ・マーケティング クルーズシャトルバス乗客動向調査を実施(客船内のクルーに向けたアンケート調査を実施) 							
	<p>②大型クルーズ船等インバウンド事業(ソフト事業) 34,866千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存ブランド強化事業 八代城址周辺の開発(遊覧船、人力車)の維持管理 人力車運行(62名利用) お堀舟巡り(大人513名、子供128名利用) 足こぎボート(164名利用) 宿泊イベント 日奈久ゆめあかりイベント助成 お堀舟巡り体験(参加者①14名、②9名) 旅行会社向け営業用動画作成及び冊子の作成 ・地域資源の開発、商品化支援 体験観光商品開発助成 外国人観光客を対象とする体験観光商品の造成と強化への助成(申請5件) ・インバウンド対策事業 周遊バス運行事業 プレミアムツアー開催(五家荘紅葉バスツアー)5本運行 ファミトリップ事業(外国人観光客誘致促進事業) プロモーション活動 							
	<p>②-1大型クルーズ船等インバウンド事業(ハード事業) 9,894千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和のまち並み空間整備事業 和のまち並み空間整備事業支援 (申請:日奈久温泉街1件、本町アーケード商店街12件) 							

<p>8 事業実績 (続き)</p>	<p>③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業 8,524千円 ■シトラスブランディング事業(九州産交ツーリズム) (1) ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西にブース出展 4日間アンケート1301収集。 ・肥薩おれんじ鉄道パネル設置 ・PR動画放映 ・アンケート実施 (2) シトラス観光圏の「食」をテーマに観光誘客事業 ・おばあちゃんの田舎料理体験(11/24 催行13人) ・絶品生姜家庭料理体験とイタリアンランチ(2/16 催行44人) (3) シトラススイーツスタンプラリー(10/1～11/30) 応募数136人 (4) シトラス観光圏域モニターツアー(8/10 催行24人) (5) シトラススプラッシュ SNSプロモーション(10/1～1/31 応募数66件) ■インバウンドプロモーション事業(グローバルプロジェクト) (1) 高雄国際トラベルフェア2019出展(9/6～9/9) 総来場者数/133,077人 ・パンフ3,000枚配布 ・Fbページいいね! 277増、フォロー479増 アンケート100人 (2) 英語・韓国版「Have NICE FUKUOKA」20,000部 年4回発行 福岡観光施設設置。 ■多言語版パンフレット制作業務(ビーエス広告社) (1) 英語版8,000部製作し、台湾(高雄旅行博)で、配布。(9/6～9/9) ■香港での晩白柚プロモーション事業(熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会) (1) イオンストアーズ香港(11店舗)での晩白柚フェア開催、プロモーションの実施。(1/16～2/16)</p>
<p>④フードバレー流通推進事業 12,259千円 ・FOOD TAIPEI 2019への八代ブース出展(6/19～22 2事業者) ・台湾基隆市におけるフェア開催(11/16～17) ・八代産農林水産物等PR事業補助(10事業者) ・リーファーコンテナ利用補助(1事業者)</p>	
<p>9 事業の地方創生への効果 (凡例は内閣府調査を準用)</p>	<p>①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたと見なせる場合)</p> <p>②地方創生に相当程度効果があつた (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)</p> <p>○ ③地方創生に効果があつた (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合)</p> <p>④地方創生に対して効果がなかつた (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)</p>
<p>10 成果・課題</p>	<p>【成果】 ①DMOやつしろ機能強化事業 ・外国人観光客に対応するため、地元学校との連携やDMOの自立化に向け、事務局長として、専門的人材を招聘し、活用を図った。また、クルーズ受入視察の実施、ふるさとチョイス実務者会議へ参加するなど、職員のスキルアップを図った。さらには、大型クルーズ客船内において、業務に従事するクルー向けのアンケート調査を実施し、顧客の特定とニーズの把握を行うとともに、どのようにプロモーションすることが効果的か検証した。 ・外部人材等の活用:新商品開発7件、香港への新規輸出2商品などの成果があつた。また、香港飲食店での八代フェアでは、少量発注に対応する仕組みを試行するとともに、フェア期間中はブロッガーをはじめとするメディア関係者に食を通して八代を紹介することができた。</p>

10 成果・課題
(続き)**②大型クルーズ船等インバウンド事業**

・こいこい通りからアーケード'に向かう街並み整備をおこない、八代城址周辺整備が進み受け入れ態勢が整いはじめた。また日奈久温泉においては、こいこいの広場の足湯部分に屋根が設置され、日奈久温泉の魅力が膨らんだ。

・景観整備をおこなうことにより、まちに対する住民の関心がより高まった

・本市の既存ブランドの強化として、「八代城址周辺開発(遊覧船、人力車)」を実施した。特にお堀舟巡りでは、大人513名、子供128名もの利用があり、八代城の周知も合わせ、一定の効果が出たといえる。

・外国人観光客を対象とする体験観光商品の造成と強化に対する助成を行い、NPO法人、企業など計5件の申請があり、地域資源の開発と商品化の支援を行った。

・重点エリアである日奈久温泉街にふさわしい和のまち並み空間整備を行う店舗等や本町アーケード商店街におけるまち並みを形成する店舗等にDMOが支援し、観光地開発を図ることができた。

・八代の魅力を満喫できるプレミアムツアーとして、五家荘紅葉バスツアーを5本開催。このほかにも国内旅行会社にインバウンド向け観光商品を体験してもらった。また、クルーズ船社への訪問や県主催香港商談会への参加、祭りアイト九州観光でのPRなど、県内外でのプロモーション活動を行った。

③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業

・「食」に関連するイベントへの出店を通じて、るるぶFREE福岡に体験情報を掲載することにより、シトラス観光圏の情報を発信できる機会となった。

・「シトラス×ララランチ」として、3市町合同で、7店舗のレストランに食材・加工品のメニュー開発することで、交流人口の拡大、連携の強化に繋がった。

・イオンフードアルチザン活動:八代港を利用して香港向けに晩白柚を2036個輸出。現地では、イオン香港・有名ブロガーによるフェア告知や広告、熊本県PRマスコットキャラクターくまモンによるPRなどのプロモーション活動を通じて、晩白柚及び産地である八代を紹介することができた。

④フードバレー流通推進事業

・台湾プロモーション:FOOD TAIPEI 2019への八代ブース出展によって、61件の商談・見積り依頼があり、1件が成約。台湾基隆市でのフェアにおいては、物産出展者による販売で過去最高益となる約185万円を売り上げ、同時開催の商談会ではバイヤー(21社)との商談を実施。

・八代産農林水産物等PR事業:見本市・商談会等出展を通して八代産品を紹介し、取引につなげる市内事業者の取組みを支援することができた。

・リーファーコンテナ利用支援:八代港からの青果物(晩白柚)の輸出につながった。

【課題】**○観光関連**

・DMOの確実な自立に向け、観光体験商品等の造成などが重要であることが明らかであるが、専門的な知識の習得や人材の必要性がより明確に浮き彫りとなった。併せて、スタッフの育成についても継続していく必要がある。

・年度末には、クルーズ船寄港数が大幅に減少し、予定していた事業の未実施となるなど、外国人観光客に頼った戦略から、既存コンテンツを活かした体験商品の造成が急務となるなど、国内誘客に対して課題を残すこととなった。

・競争激化によるクルーズ船来航隻数の減少があった。今後はくまモンポートを活用した受入れ体制の強化と、新たな発着地の開拓が必要。

・国内クルーズの誘致、新型コロナウイルス感染拡大でのクルーズ船の風評被害の払拭。

・シトラス観光圏オフィシャルInstagramを開設し、熊本県立大学生の研究課題として、情報発信を行いフォロワーは140名を超えたが、一時的なもので恒久的な情報の発信が必要。

・旅行商品の造成に関して、ターゲット層に効果的に広報ができず、かつ、他地域に負けない観光素材の構築ができずに催行に至らなかった商品があった。「金波楼で過ごすチ贅沢なシトラスご褒美旅」、「女子だけで楽しむラフティング」、「満天の星空とソルティートッグ」など。

・台湾向け旅行商品の造成と販売を実施したが、ニーズに合わず販売実績に繋がらなかった。(台湾からの旅行者が、6日間もシトラス観光圏では滞在しない。)

○フードバレー関連

・八代産農林水産物等の販路拡大の為には、海外における認知度向上が必要である。

・輸出に関してハードルが高いと感じる事業者が多いため、海外へ進出する企業等の掘り起こしが必要である。

・展示会等の商談において、単発的な取引が多く安定的な商流の獲得が課題である。

■外部検証(外部委員からの意見等)

11 事業の評価	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
12 本事業を評価する意見	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
13 本事業の良くなかった点・改善策等の意見	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》

■議会による検証

14 議会による検証(意見等)	《R2.6予定:八代市議会経済企業委員会においてご意見を伺います》
-----------------	-----------------------------------

■実績値等を踏まえた事業の今後の方針について

15 今後の方針	<p>①DMOやつしろ機能強化事業 引き続き、DMOやつしろを担う専門的人材を活用するとともに、クルー向けにクルーズ先客のニーズ把握のため、マーケティング調査を行う。</p> <p>②大型クルーズ船等インバウンド事業 実施主体であるDMOやつしろに対し、八代城址周辺や妙見宮周辺整備を進めるために運営支援を行っていく。また、平成31年度までに実施した体験型観光メニューを活かしながら、宿泊との連携と既存ブランドの強化、周知を展開する。さらには、インバウンド対策として、引き続きプレミアムツアーの造成や国内外へのPR活動を行っていく。</p> <p>③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業(シトラス観光圏推進) 3カ年計画(平成30年～令和2年)にて事業を実施しており、令和3年度以降は、予算なしの事業の推進、若しくは、事業終了等、会員の総会を経て決定予定。</p> <p>④フードバレー関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本市出展やフェアの開催を観光と連携して実施し、本市の認知度向上とともに新規販路獲得を目指す。 ・既存事業者との取り組みを継続的に進めつつ、国内事業と連携したセミナー等を実施し、事業者の輸出意欲の促進を図ることで、これまで実績を有しない事業者による輸出の取組を実現する。 ・海外のニーズに合った商品開発や販路開拓を進めるため、輸出アドバイザーによる個別相談や事業者訪問等を継続して実施する。
----------	---

16 R2年度の取組概要	<p>①DMOやつしろ機能強化事業 19,947千円 DMOやつしろの自立に向け、専門的人材による登用の最終年度として後継者育成と地域人材へのノウハウの継承を図る。また、農産物の販路拡大を目指し、専門アドバイザーによるコーディネートを支援する。 【実施主体:八代市・DMOやつしろ】 ・専門人材の活用(まちづくり専門人材、6次化・流通・海外アドバイザー) 【実施主体:DMOやつしろ】 ・専門的人材の活用、マーケティングの実施(クルーズ船客ニーズ把握等)</p> <p>②大型クルーズ船等インバウンド事業 (ソフト事業) 14,736千円 熊本ローカルの旅は八代・県南が面白いという認識が外国人旅行者に周知されるようプロモーションを展開するとともに、既存ブランドの強化を図る。 【実施主体:DMOやつしろ】 ・八代城周辺、妙見宮周辺(運営支援) ・既存ブランド強化(宿泊するための仕掛けづくり:サプライヤーによる活動支援等) ・インバウンド対策(県内プレミアムツアー、周遊バス運行、国内外プロモーション)</p> <p>③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業 4,913千円 国内及び海外旅行者の交流人口の拡大、宿泊等旅行者の滞在時間を増加させるなど、シトラス観光圏の認知度を高めるための事業展開を促進する。 また、福岡方面からの送客・宿泊者数の増加を目標とする。 【実施主体:シトラス観光圏推進協議会】 ・シトラス観光圏の観光情報の発信強化(圏域事業者を対象としたSNS活用講座、プロモーション活動、WEBを活用した情報発信、イベント等においてPR活動等) ・福岡方面からの宿泊付き旅行商品造成、モニターツアーの実施。 【実施主体:八代市・氷川町】 ・イオンフードアルチザン活動(イオン香港での観光フード展)</p> <p>④フードバレー流通推進事業 12,794千円 フード関連事業による商流の継続・拡大と更なる知名度向上により、産地ツアー等の観光や外食、お土産品など、食と観光が一体となった外貨獲得手段の完成を目指す。 【実施主体:八代市】 ・台湾プロモーション事業(台南等での認知度定着およびバイヤーとのマッチングによる商流の開拓を目的とした観光フード展) ・八代産農林水産物等PR事業補助(県外・海外へ進出する企業等の商取引自立化に向けた支援) ・リーファーコンテナ利用支援(八代港からの生鮮品等の輸出を目的とした補助。港湾施設(ガントリークレーン)の充実を契機とした生鮮品等の輸出を行う荷主への商流自立化支援)</p>
--------------	--

■事業概要・内部検証

1 事業名	八代圏域ツナガルインターンシップ推進事業【事業期間：H28～R2年度】
2 総合戦略での主な位置付け	<p>基本目標1：魅力産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やっしろ”</p> <p>2. 多彩な地域産業を支える</p> <p>(2)「人材」確保・育成・支援</p>
3 事業の背景・目的	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八代市は、全国と比して15歳前後の流入が多く、周辺市町村からの進学先としての受け皿となっている一方、18～20歳前後の転出が非常に多い。氷川町・芦北町も、八代市同様、若年者の流出が非常に多い。 ・八代市と氷川町・芦北町は隣接していることから通学・通勤面でも結びつきが強い地域であり、定住自立圏形成協定を締結し圏域全体の定住促進に向けて連携・協力を進めているところである。 ・3市町とも若年者の流出が顕著である一方、卒業後の進路に関するアンケートでは、各市町への定住を望む学生が5～6割おり、非常に高い結果であった。また、氷川町・芦北町においては、求職者の5割以上は町内に希望する職種がないと回答している。 ・3市町の企業からは、若年者の雇用環境が年々厳しさを増すことへの不安感が広がっており、将来的な経営の持続性が危ぶまれている。一方で、教育機関からは市内企業の情報が学生に伝わらないとの声も聞かれており、実際には企業からの求人が出されているにも関わらず、若年者にとっては「地元就職先がない」との印象を与えてしまっている状況である。 ・八代圏域でも多くの企業がインターンシップの受入を行っているが、学生にとっては単に就業体験を行う場所、企業にとっては地域貢献のための取組となっており、両者にとってメリットが非常に少ない実情となっている。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的なインターンシップの取組を通じて企業の魅力を直接的に学生へ伝える手段・場所をつくることで学生が域内企業を知る機会を創出する。 ・企業の経営課題解決にインターンシップを活用するなどし、域内企業の抱える人材不足や経営的な課題の解消を図る。 ・これらの取組みにあたっては、3市町のうち大多数の企業が立地する八代市が主となってインターンシップの仕組みを構築し、若年者雇用のダムとなり、八代圏域内外の学生の域内定着を図るとともに、氷川町・芦北町とも連携しながら、移住定住を促進するための側面的支援を実施することで、地域の仕事に希望を持ち、圏域で生活していきたいという若者を増やすことを目指す。
4 事業の概要 (H28～R2年度)	<p>①企業と若者との交流拠点整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展開1：インターンシップを通じた企業と学生との交流を促進。 ・展開2：学生と企業による新技術・新製品開発等に対するコーディネート(県内大学・高専等との連携) ・展開3：UIJターナーの地元就職のための相談窓口を設け、域内企業とのマッチングを支援(地元商工会議所・商工会等との連携)。 ・展開4：当該拠点を活用した地域内雇用及び創業の促進にかかる支援 <p>②インターンシップの取組を通じて活性化する企業活動・若者の集積を産業振興や定住促進へ繋げるための側面支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進事業(首都圏等で開催される移住定住フェア等への参加、情報発信等。)

<p>5 交付金を充当する経費内容 (R1年度計画)</p>	<p>①企業と若者の交流拠点整備 ■ツナガルインターンシップ事業 22,482千円(うち八代市19,110千円) 八代圏域雇用促進センターへの委託事業として実施。 拠点の自立化に向け、委託料の削減と収益性向上のため、企業情報紹介冊子やインターンシップ専用アプリの活用による企業PR策の拡大。 域外から長期実践型インターンシップを受入を拡大するため、各地域(東京・福岡・熊本等)の先進団体との連携強化。 域内企業を対象とした、インターンシップ導入にかかる各種セミナーの開催。 UIターン者の地元就職のための相談窓口による域内企業とのマッチングを支援とともに、企業情報を蓄積。 学生と企業による新技術・新製品開発等をコーディネートするとともに、成功事例をPRすることにより、取組を活性化させる。</p> <p>②企業の成長力強化支援 ■未来チャレンジ企業創出支援事業 3,677千円 新拠点スタッフ等を介してコーディネートした今後成長が期待される企業を未来チャレンジ企業として認定し、大学・高専等との連携を含む開発案件を支援。市の認定を受けた将来性のある企業に対し、専門のアドバイザーを配置することにより大学等の研究機関や県内外の企業との連携を促進するとともに、経営力強化を図ることによって、学生の就職先候補となる企業を育成する。</p> <p>③人口流出防止・人口流入増大に係る企業人材確保支援 ■ライフプランセミナー事業 3,201千円 若者を対象としたライフプランセミナーの開催等により八代市で暮らし、働くことを考える機会を創出する。</p> <p>④定住自立圏構想による広域連携事業 ■移住定住促進事業 1,043千円(うち八代市369千円) 首都圏等で開催される移住定住フェア等において、圏域の魅力や移住支援策を対外的に発信すると共に、インターンシップ事業との連携により、具体的な域内企業情報などを紹介することで移住者の増加に結びつける。</p>							
<p>6 R1年度実績額 (下線は見込み)</p>	<p style="text-align: right;">29,518 (千円)</p>							
<p>7 本事業における重要業績評価指標 (下線は見込み)</p>	<p>指標名</p>	<p>事業開始 時点</p>	<p>H28</p>	<p>H29</p>	<p>H30</p>	<p>R1</p>	<p>R2</p>	
<p>高校・高専・短大卒業 者等の八代圏域 内企業への就職者 数(人)</p>	<p>目標値</p>	<p>141</p>	<p>141</p>	<p>144</p>	<p>162</p>	<p>196</p>	<p>245</p>	
	<p>実績値</p>	<p>141</p>	<p>140</p>	<p>143</p>	<p>158</p>	<p>143</p>		
<p>18～22歳の若年 者の八代圏域へ の定着率(%)</p>	<p>目標値</p>	<p>91</p>	<p>91</p>	<p>91</p>	<p>92</p>	<p>93</p>	<p>94</p>	
	<p>実績値</p>	<p>91</p>	<p>89</p>	<p>86</p>	<p>85</p>	<p>85</p>		
<p>本事業による、イ ンターンシップ参 加学生数(人)</p>	<p>目標値</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>53</p>	<p>164</p>	<p>308</p>	<p>485</p>	
	<p>実績値</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>43</p>	<p>205</p>	<p>637</p>		

<p>8 事業実績</p>	<p>①企業と若者の交流拠点整備 22,482千円 ■短期及び中・長期インターンシップのマッチング:参加人数637人、受入事業所延べ245社、圏域内の高校5校と高専1校、中学校1校をマッチング。さらに次年度のマッチングに向け、実績校以外の学校とマッチング調整を実施。 ■企業説明会の開催(6月、8月、11月):計4回 来場者延べ221名 求職者及びその家族等を対象に、企業ごとにブースを設け、集客が多いショッピングモールなどを活用し実施。また、芦北町の事業所のみ説明会を新たに開催した。 ■企業向けセミナーの実施(7月、11月):計3回 延べ115名参加 外国人雇用啓発セミナー、若者と雇用の考え方、リモートワークセミナー ■企業のインターンシップ紹介冊子vol.4～7作成(各5,000冊)</p> <p>②企業の成長力強化支援 3,651千円 ■八代市未来チャレンジ企業創出支援コーディネータを1名設置し、支援を実施。企業の技術的課題の抽出及び課題解決に向けた支援:7社 産学官ネットワークを活用した新たな技術・商品開発及び販路開拓支援:4社 事業化に必要な県内外の公設試験研究機関との連携等:3社</p> <p>③人口流出防止・人口流入増大に係る企業人材確保支援 3,162千円 ■ライフプランセミナー事業 高校生による地域研究及び成果発表(やつしろ学生ラボ) 研究会 4回 研究生23名 発表会 研究生18名 来場者 61名 学生ラボ冊子「8DAYS」作成・配布(6,000部)</p> <p>④定住自立圏構想による広域連携事業 223千円 ■移住定住促進事業 熊本県移住相談会への参加 ・東京等で開催される移住定住フェア等への参加:4回:本市への相談者23人</p>								
<p>9 事業の地方創生への効果 (凡例は内閣府調査を準用)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 1153 603 1249"></td> <td data-bbox="603 1153 1481 1249"> <p>①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1249 603 1348"></td> <td data-bbox="603 1249 1481 1348"> <p>②地方創生に相当程度効果があった (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1348 603 1447"> <p>○</p> </td> <td data-bbox="603 1348 1481 1447"> <p>③地方創生に効果があった (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="399 1447 603 1545"></td> <td data-bbox="603 1447 1481 1545"> <p>④地方創生に対して効果がなかった (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)</p> </td> </tr> </table>		<p>①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)</p>		<p>②地方創生に相当程度効果があった (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)</p>	<p>○</p>	<p>③地方創生に効果があった (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合)</p>		<p>④地方創生に対して効果がなかった (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)</p>
	<p>①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)</p>								
	<p>②地方創生に相当程度効果があった (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)</p>								
<p>○</p>	<p>③地方創生に効果があった (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合)</p>								
	<p>④地方創生に対して効果がなかった (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)</p>								

10 成果・課題	<p>【成果】</p> <p>①企業と若者の交流拠点整備 交流拠点となっている一般社団法人八代圏域雇用促進センターの認知度が高まってきており、圏域内の学校とのマッチング数は大幅にアップしたことを受け、学校側との信頼関係も構築出来てきている。また、受入先となる会員企業もR2. 3月末で242社となり前年度末比較して、107社の増加となり、短期インターンシップの充実は図られたと考えている。しかしながら、KPI①、KPI②の数値は目標値を未達成であるため、インターンシップの取り組みがさらに地元就職、地元定着に繋げる施策を考える必要がある。</p> <p>②企業の成長力強化支援 認定企業数が前年度4社から今年度は新たに3社を認定し、計7社が支援制度の適用を受けている。認定企業に対し、コーディネータが知見を活かした適切な助言を行い、知的財産の有効活用や関係機関との連携調整など、行政職員では支援が難しい部分について、サポートしている。その成果として、すでに決算期を迎えている2社は過去最高の売上高の実績も出てきている。</p> <p>③人口流出防止・人口流入増大に係る企業人材確保支援 インターンシップやフィールドワークを通して、地域企業や団体が抱える課題を実際に体験し、その解決策について研究生が自ら考え、発表、提案するという経験を通して、八代という地域や、八代の企業に対して、深く知り、考え、見つめ直す機会を創出することができた。</p> <p>④定住自立圏構想による広域連携事業 熊本県移住相談会への参加 八代来訪をされた1組のご夫婦と、東京の相談会会場での関わりを維持している。</p>
	<p>【課題】</p> <p>①企業と若者の交流拠点整備 現在マッチングができていないインターンシップの多くは依然として、本計画で目指している「企業の経営課題解決につながる実践的なインターンシップ」とは言い難く、そのモデル構築が急務である。加えて、交付金の期間終了後も自走できるような収益性の確保に目途をつける必要がある。</p> <p>②企業の成長力強化支援 コーディネータが1人であるため、物理的、時間的な理由で支援できる企業数に限界がある。誰にでも委託できる業務ではないため、安易に増員することもできない。</p> <p>③人口流出防止・人口流入増大に係る起業人材確保支援 インターンシップの受入先企業の選定が難航した。またインターンシップの期間が短いため、実践型インターンシップを実施するのが難しい。発表会の聴衆がまだ少ないため、成果発表の方法を検討する必要がある。</p> <p>④定住自立圏構想による広域連携事業 熊本県移住相談会への参加 八代市への転入実績はなかったが、相談会1回だけの対応で成果を得るのは難しいため、相談会以後のフォロー等についても手厚く実施していく必要がある。</p>

■外部検証(外部委員からの意見等)

11 事業の評価	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
12 本事業を評価する意見	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
13 本事業の良くなかった点・改善策等の意見	《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》

■議会による検証

14 議会による検証(意見等)	《R2.6予定:八代市議会経済企業委員会においてご意見を伺います》
-----------------	-----------------------------------

■実績値等を踏まえた事業の今後の方針について

<p>15 今後の方針</p>	<p>①企業と若者の交流拠点整備 取組の実績は出てきているものの、未だ拠点の自走化の目途が立たないことから、R2年度は組織を継続させていく方法を検討しながら、収益確保に対する検討を進めていく。</p> <p>②企業の成長力強化支援 コーディネータの強みを活かし、認定企業への重点的な支援を継続していく。</p> <p>③人口流出防止・人口流入増大に係る起業人材確保支援 地方創生推進交付金事業としての実施は令和元年度までであるが、この2年間の取組を活かし、若者が地域に対する理解をより深めることができるような事業を実施する。</p> <p>④定住自立圏構想による広域連携事業 熊本県移住相談会への参加 地方創生推進交付金事業としての実施は令和元年度までであるが、移住相談者が移住後の生活をイメージできるような情報の提供に努め、相談会への参加を継続する。引き続き、定住自立圏(氷川町・芦北町)での連携を継続し、仕事、住まい、受け入れ体制等の情報を共有し、移住希望者のニーズに対応していく。</p>
<p>16 R2年度の取組概要</p>	<p>①企業と若者の交流拠点整備 ■ツナガルインターンシップ事業 22,482千円(うち八代市19,110千円) 八代圏域雇用促進センターへの委託事業として実施。 インターンシップを起点とした企業と若者とのコネクション強化。 UIJターン者の地元就職のための相談窓口による域内企業とのマッチング支援と併せ、熊本県UIJターン就職支援センターとの圏内企業情報発信を含めた連携。 当該拠点を活用した地域内雇用及び創業の促進にかかる支援。</p> <p>②コワーキングスペース活用事業 4,054千円(うち八代市2,027千円) 雇用の受け皿となる企業のサテライトオフィスの誘致に併せ、企業と学生の交流拠点となるようコワーキングスペースの整備(ハード事業については市単独)も進め、入退室管理や会員間のコミュニケーションを活性化させるため、コワーキングスペースコミュニケーションアプリの開発を行う。</p> <p>【企業の成長力強化支援】 (八代市) 未来チャレンジ企業創出支援事業 3,651千円 今後成長が期待される企業を未来チャレンジ企業として認定し、大学・高専等との連携を含む開発案件を支援。市の認定を受けた将来性のある企業に対し、専門のコーディネーターを配置することにより大学等の研究機関や県内外の企業との連携を促進するとともに、経営力強化を図ることによって、学生の就職先候補となる企業を育成する。</p> <p>【人口流出防止・人口流入増大に係る企業人材確保支援】 (芦北町) ①移住定住促進支援事業 500千円(委託料) 空き家情報など、移住定住ポータルサイト等による情報発信の充実を図るため、利活用可能な空き家の調査を実施し、空き家バンクを拡充することで、移住定住希望者の受け入れ体制の整備を進める。</p>

■事業概要・内部検証

1 事業名	<p>八代市健康交流のまちづくりを目指したヘルスツーリズム構築事業 【事業期間:令和1年～令和3年度】</p>
2 総合戦略での主な位置付け	<p>基本目標2:人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ” 1. 交流人口の拡大 (1) 地域資源を活かした交流拡大の推進</p>
3 事業の背景・目的	<p>【背景】 ・「やつしろ全国花火競技大会」や「八代妙見祭」など20～30万人の集客力のある大型イベント、日本一の生産量を誇るトマト等の「豊富な農林水産物」や日本山岳遺産に認定された五家荘の山々から八代海まで広がる「豊かな自然」など多様な地域資源を活用した交流拡大の推進を図っている。 ・開湯600有余年の歴史をもち湯治文化で栄えた日奈久温泉を、本市における体験型観光や滞在型観光の核となる観光振興重点エリアとして位置付けており、1862年築の町屋など伝統的な様式の建造物の保全継承とともに往時のたたずまいを活かした観光客誘客に結び付ける取り組みを行っている。 ・日奈久温泉を核として「地域資源の活用と観光コンテンツの開発」にも取り組んでおり、(一社)DMOやつしろを中心として自然や食など、本市の特性や強みを活かしたニューツーリズムを構築し観光産業の発展を図ることとしている。</p> <p>【目的】 ・高齢社会における世の中の健康及び世界のウェルネス・ヘルスツーリズムに関するニーズの高まりを受け、湯治場としての面影を残す日奈久温泉を核とし、本市の豊富な農林水産物を活かした地産地消の推進、豊かな自然を活かしたアクティビティを連動させた「ヘルスツーリズム」に挑戦し、交流人口の拡大、観光産業の活性化、地産地消による域内経済の活性化を目指す。</p>
4 事業の概要 (令和1～令和3年度)	<p>・日奈久地域の温泉、地元食材を活用した健康プログラムを実際に開発、運営していくためのヘルスツーリズムに関する構想づくり、事業計画策定、事業推進主体の構築。 ・プログラムを提供するため事業推進主体として予定している(一社)DMOやつしろの人材の育成。関係事業者との調整及び各種地域団体、宿泊施設との連携を強化するためのマネジメントを行う。併せて、開発したプログラムを日奈久地域で実施し、率先して、地域を巻き込んだ事業を展開していく。 ・健康に関するマーケティング調査や地域資源を活用した健康プログラムを造成し、モニターツアーなどをとおして、ニーズの把握や、更にプログラムを磨き上げる。 ・地域住民と来訪者に向けたプロモーション。(シンポジウム、体験会の開催)。 ・日奈久地域にある個々の観光素材をブランディングし、ヘルスツーリズムを構築して、新たな魅力を創出する。</p>
5 交付金を充当する経費内容 (R1年度)	<p>①ヘルスツーリズム構想の策定 29,000千円 日奈久温泉を核とするヘルスツーリズムの構築に向け、日奈久地区にある本市最大級のグラウンドゴルフ場等の施設や町並みウォーキングや地元食材など様々な地域資源を活かすためのマーケティング調査、ビジョンコンセプト・ターゲットの分析等を行い、ヘルスツーリズムに関する戦略及び事業計画を策定する。 ・マーケティング調査(WEBブランド調査・WEB定性調査・市民ヒアリング) ・ビジョンコンセプト、ターゲットの設定 ・健康をテーマとしたニューツーリズムに求める機能や実現手段に関する調査(マーケティング調査、事業者ヒアリング、モニタリング)</p> <p>②人材育成 2,000千円 関係団体・事業者との連携調整、豊富な地域資源の活用等ヘルスケアシステムの地域への実装を担う ・専門的人材の育成</p>

6 R1年度実績額 (下線は見込み)	31,000 (千円)							
7 本事業における重要業績評価指標 (下線は見込み)	指標名		事業開始 時点	R1	R2	R3	R4	R5
	日奈久温泉宿泊者 数(人)	目標値	19,169	19,209	19,269	19,389	/	/
		実績値	19,169	22,242	/	/		
	健康プログラム開 発数(件)	目標値	0	0			10	20
		実績値	0	0	/	/		
	ヘルスツーリズム 参加者数(人)	目標値	0	0			100	300
実績値		0	0	/	/			
8 事業実績	①ヘルスツーリズム構想の策定 28,000千円 (1)マーケティング調査 ・現状調査(八代市の既存の地域資源の棚卸調査、八代市のブランド力調査、国内外の事例調査) ・ビジョン・コンセプト設定(ビジョン・コンセプトの仮設立案、ターゲット顧客の設定)							
	(2)ヘルスツーリズムプログラムの具体像検証 ・ニーズの把握・分析(本事業活動に係る利害関係者による調査・整理・分析し、ターゲットとなる顧客像「ペルソナ」の生成) ・事業の検討(アイデア抽出のためのワークショップを行い、事業アイデアの評価・絞り込み及び事業アイデアの試作を実施) (3)事業(案)の検証 試作した事業の検証、顧客の行動プロセス分析、事業採算性の検討、社会影響や利害関係の分析、具現化における課題の抽出 (4)ヘルスツーリズムプログラムの実現に向けた提言 ・事業計画の立案 ・説明会の実施 ②人材育成 3,000千円 ・DMOやつしろに設置する専門人材の育成 ・人材育成セミナー業務							
9 事業の地方創生への効果 (凡例は内閣府調査を 準用)		①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)						
		②地方創生に相当程度効果があった (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)						
	○	③地方創生に効果があった (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合)						
		④地方創生に対して効果がなかった (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)						

<p>10 成果・課題</p>	<p>【成果】 本事業は令和元年度から令和3年度までの3か年計画で令和4年度に事業を開始するものである。 令和元年度(1年目)の成果については、マーケティング調査(インターネットによるアンケート調査)を実施し、540のサンプルを得た。 また、マーケティング調査を行ったことで、八代市の魅力や現状を再確認することができた。 その後、そのサンプルを基に国内で実現されているヘルスツーリズムの事例38例を参考にプログラム案の評価、絞り込みを行い、40の案を作成をした。</p> <p>【課題】 旅行商品として売り出しても、旅客の奪い合いとなり、成功するとは限らない。 成功するには地元の参画や協力がカギとなり、商品を地域に根差したものとすることが課題である。 また、地域に根差するためには、継続して収益を上げていかなければならないのも課題である。 週末だけではなく、平日も地元で参画できる体制も構築していかなければならない。</p>
-----------------	---

■外部検証(外部委員からの意見等)

<p>11 事業の評価</p>	<p>《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》</p>
<p>12 本事業を評価する意見</p>	<p>《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》</p>
<p>13 本事業の良くなかった点・改善策等の意見</p>	<p>《R2.5予定:やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》</p>

■議会による検証

<p>14 議会による検証(意見等)</p>	<p>《R2.6予定:八代市議会経済企業委員会においてご意見を伺います》</p>
------------------------	--

■実績値等を踏まえた事業の今後の方針について

<p>15 今後の方針</p>	<p>①地元の協力 日奈久温泉を中心としたヘルスツーリズム事業には地元の協力が必要不可欠であるため、協力が得られるよう、広報や説明会の実施が必要。 (地元が事業を知らない、事業が根付かない上に、事業自体の継続が難しくなる。) 地元を巻き込んで、地元の方々が参画できるようにすることが必要。</p> <p>②インバウンド事業 外国人にも参加できるよう、食・農・文化・スポーツ等の様々な分野と連携した体験型観光の開発や観光客の周遊性を高めるための多言語による情報発信(表示・ガイドブックやSNS・スマートフォン)等に取り組む。</p> <p>③人材育成 地域との交流を積極的に行い、地域の実態把握・課題分析を通じて、地域における共通の目標を設定し、その達成に向けて具体的な計画を作成・実行できる人材の育成</p>
<p>16 R2年度の取組概要</p>	<p>①体験型健康プログラムの開発及びヘルスツーリズムとしての商品造成 20,000千円 ※前年度に策定した戦略及び事業計画に基づき、次の取組を実施する。 ・温泉、スポーツ施設等の地域資源及び気候・地形を活かした科学的根拠(エビデンス)を踏まえた健康プログラムの開発 ・熊本県内の飲食店等が糖尿病や肥満の予防や改善を目指し考案した「ブルーサークルメニュー」を参考に、市内飲食業、宿泊業、加工事業者と連携し健康メニュー(食)の開発 ・健康プログラム、食等を活用したヘルスツーリズムとしての商品造成</p> <p>②人材育成 10,000千円 ・関係団体・事業者との連携調整、豊富な地域資源の活用等ヘルスケアシステムの地域への実装を担う専門的人材の育成 ・ヘルスケアサービスを提供する人材の育成(ヘルスツーリズムガイド等の有資格者)技能や知識の向上を図り、より魅力ある健康プログラムを開発、運営することが出来る。 健康プログラム参加者数の増加や、宿泊を伴うプログラム開発による日奈久温泉施設宿泊数増加も期待される。</p>

■事業概要・内部検証

1 事業名	コミュニティビジネスによるしごと創生・地域活性化プロジェクト【事業期間：H28～29年度】
2 総合戦略での主な位置付け	基本目標2: 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ” 1. 交流人口の拡大 (1) 地域資源を活かした交流拡大の推進
3 事業の背景・目的	<p>【背景】 広域交流センター「さかもと館」(道の駅坂本)は、球磨川水系の文化及び情報の拠点として、交流促進による地域活性化と産業及び商工観光振興を目的とした施設である。国道219号線沿いにあり交通アクセスも良く、日本初のダム撤去工事により注目を集める県営荒瀬ダムの下流約400mに位置しているため、ダム撤去工事の見学者をはじめ市外からも多くの観光客が訪れ、地域の物産振興、情報発信、交流の拠点となっている。しかし、集客・収益とも横ばい状態にあるため、市内でも産業の衰退や人口流出が著しい本地域においては、平成30年3月のダム撤去後も、さらに多くの観光客に訪れてもらい続けることが課題となっている。加えて、当該施設には物産施設とレストランがあるものの、地域住民と市外から訪れる方々との交流拠点となるようなスペースがなく、観光客の獲得に向けた事業展開にも支障をきたしている状況にある。</p> <p>一方、地域においては、ダム撤去に伴う清流・球磨川の再生など新たな観光資源も生まれつつあり、この好機を捉えて、八代市坂本町の住民全員が構成員となる坂本住民自治協議会を中心に、球磨川流域の豊かな大自然や地域の山の幸・川の幸を活かした体験型観光事業(収穫体験等の農漁業体験、鮎やな食堂や郷土料理体験等の食体験、川遊び体験等の自然体験)を展開するコミュニティビジネス(球磨川再生シルバー事業)の取り組みを推進しているところである。</p> <p>【目的】 施設の交流促進機能の向上を図るため、交流拡大のためのイベント開催や体験型観光事業の拠点場所として、また地域の食文化の発信拠点としての施設整備を行うことで、地域経済の活性化や雇用の創出に向けた取り組みを推進する。更に、これらの取り組みにより坂本町の認知度向上を図り、新たな観光客を獲得することで交流人口を拡大し、地域の賑わいと活力の醸成に取り組む。</p>
4 事業の概要 (H28～29年度)	<p>本事業では、地域に雇用を創出し、活力と賑わいを取り戻すことを目的に、住民自身を中心となって取り組むコミュニティビジネスの実施にあたり、その活動拠点として以下の事業を実施する。</p> <p>なお、コミュニティビジネスの円滑な事業推進のため、坂本住民自治協議会のコミュニティビジネス部門を法人化する予定である。</p> <p>○イベント交流施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域交流センター「さかもと館」敷地内にイベント交流施設を増築する。 ・整備するイベント交流施設は、多目的交流スペースのほか、鮎やな食堂や郷土料理体験に活用するため厨房を整備する。 ・併せて、効果促進事業として、コミュニティビジネスの取り組みに直接必要となる備品(厨房設備、テーブル、椅子等)を整備する。
5 交付金を充当する経費内容 (H29年度計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 56,730千円 広域交流センター「さかもと館」敷地内にイベント交流施設を増築する。鮎やな食堂や、郷土料理体験に活用するため、厨房も整備する。 ・備品購入 1,000千円 鮎やな食堂や、郷土料理体験へ活用する為に備品(厨房設備・その他テーブル椅子等)を購入する。

6 平成29年度実績額 (下線は見込み)	56,681 (千円)							
7 本事業における重要業績評価指標 (下線は見込み)	指標名		事業開始 時点	H28	H29	H30	R1	R2
	坂本住民自治協議会 のコミュニティビ ジネスにおける収 入額(千円)	目標値	0	470	19,745	29,260	30,074	30,476
		実績値	0	303	14,634	16,117	17,657	
	坂本住民自治協議会 のコミュニティビ ジネスにおける来 客者数(人)	目標値	0	300	9,130	13,140	13,290	13,365
		実績値	0	99	7,386	7,497	8,702	
	坂本住民自治協議会 のコミュニティビ ジネスにおける雇 用創出数(人)	目標値	0	0	5	8	10	11
実績値		0	0	10	10	11		
8 事業実績	○イベント交流施設の整備 ・広域交流センターさかもと館敷地内にイベント交流施設を増築した。(イベント室 114.80㎡、厨房43.20㎡、ピロティ24.00㎡ 合計182.00㎡)							
9 事業の地方創生への効果 (凡例は内閣府調査を 準用)		①地方創生に非常に効果的であった (例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる 場合)						
		②地方創生に相当程度効果があった (例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみな せる場合)						
	○	③地方創生に効果があった (例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・ 改善したとみなせる場合)						
		④地方創生に対して効果がなかった (例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善し たとは言い難いような場合)						
10 成果・課題	【成果】 ・イベント交流施設の整備により、来客数や売上額は増加傾向にある。 ・地元の雇用拡大にも繋がっている。 【課題】 ・コミュニティビジネスのメインが「食処さかもと鮎やな」であり、実施期間が限定される。 ・移動手段を持たない団体客などの新規顧客の獲得機会を逃している。							

■外部検証(外部委員からの意見等)

11 事業の評価	《R2.5予定: やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
12 本事業を評価する意見	《R2.5予定: やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》
13 本事業の良く なかった点・ 改善策等の意見	《R2.5予定: やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議委員よりご意見を伺います》

■議会による検証

14 議会による検証 (意見等)	《R2.6予定: 八代市議会経済企業委員会においてご意見を伺います》
---------------------	------------------------------------

■実績値等を踏まえた事業の今後の方針について

15 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動を行い、広範囲からの集客ができるように支援する。 ・坂本住民自治協議会等への支援を行い、年間を通じて施設の稼働率を上げ、収入の増加、雇用の創出を図る。
----------	---